

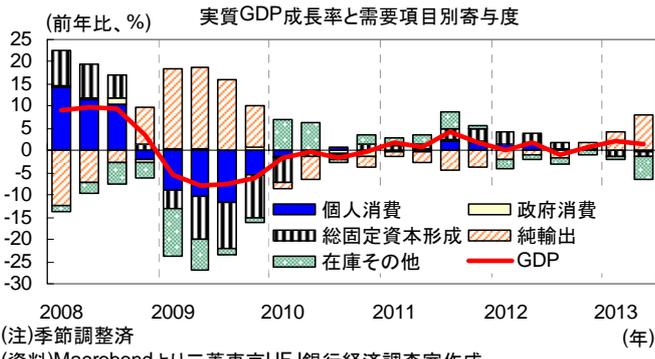
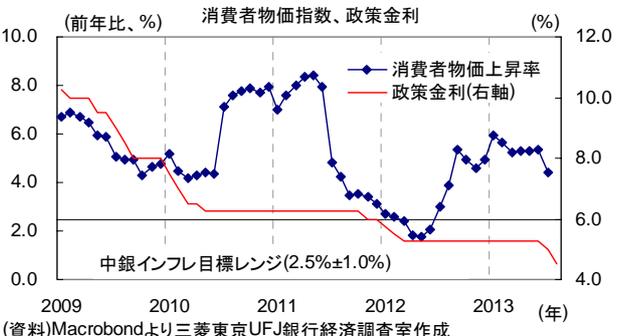
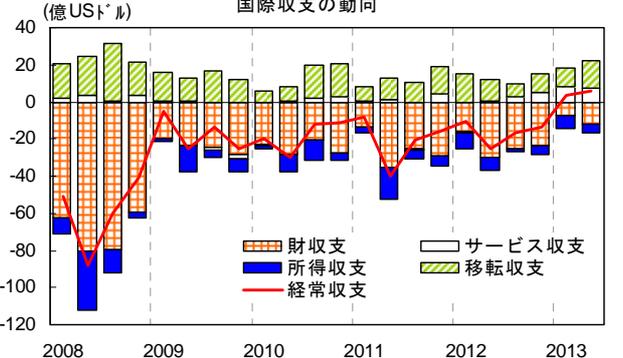
ルーマニア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Romania)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	物価
<p>ルーマニア経済は低成長が続いている。第 2 四半期の実質 GDP 成長率(季節調整済)は、前期の前年比+2.3%から同+1.4%に鈍化した。需要項目別の内訳をみると、前期に引き続き外需が唯一のプラス寄与となった。内需の低迷で輸入が減少を続ける一方、主要輸出先であるドイツ経済の持ち直しを背景に、輸出は同+11.6%と大幅に増加した。一方、景気減速で在庫調整圧力が高まったことから、在庫投資が全体を大きく下押しした。総固定資本形成についても、銀行貸出基準の厳格化等の影響を受けて同▲4.1%となり、マイナス寄与となった。</p> <p>今後については、外需はドイツを中心としたユーロ圏経済に持ち直しの兆しが見られるものの、その回復は緩やかなものとなることが予想される。個人消費については、今後インフレ率の低下が見込まれることはプラス要因となろう。ただし、家計への圧迫は残る。通貨レイの下落で外貨建ローンの返済額が増加しているほか、家計向け銀行貸出も減少傾向にある。企業活動についても、財政緊縮の継続や銀行貸出基準の厳格化などが内需系企業の重しとなろう。このような状況から、ルーマニア経済は当面、低調推移が予想される。</p>  <p>実質GDP成長率と需要項目別寄与度 (前年比、%)</p> <p>(注)季節調整済 (資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>7 月の消費者物価上昇率は、前年比+4.4%となり、前月の同+5.4%から鈍化した。農作物不作による前年 7 月以降の食料品価格高騰の影響が剥落したことが主因である。ルーマニア中央銀行は 8 月公表のインフレ報告書で、インフレ率は今後も鈍化傾向が続き、9 月もしくは 10 月には中銀のインフレ目標枠内(1.5~3.5%)に収まる可能性が高いとの見通しを示した。レイ安による輸入価格上昇という上振れリスクは残るものの、今年は農作物の収穫量が例年並で推移することが見込まれることから、今後も食料品価格の上昇率は減速傾向を続けるとしている。インフレ率の低下、内需の低迷や銀行貸出の減少等を踏まえ、中央銀行は 8 月、政策金利を 0.50%ポイント引き下げ、4.5%とした。利下げは 7 月の 0.25%の引き下げに続き、2 カ月連続。</p>  <p>消費者物価指数、政策金利 (前年比、%)</p> <p>(資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>生産</p> <p>7 月の鉱工業生産(季節・稼働日調整済み)は前年比+6.3%と、前月の同+8.0%から減速したが、底堅く推移している。部門別でみると、主要品目である自動車の好調を背景に、製造部門が同+7.7%となった。製造業景況感については一進一退が続いているものの、8 月の景況感指数は▲3.2 と前月の▲4.0 から若干上向いた。内訳をみると、ドイツにおける生産の持ち直しを受けて海外受注が 2 カ月連続で改善したことを背景に、新規受注に持ち直しの兆しが見られ、生産見通しも上向いている。</p> <p>6 月の建設業生産(稼働日調整済)は前年比▲3.9%と 3 カ月連続で前年水準を下回ったが、縮小ペースは前月の同▲9.9%から減速した。建設業景況感をみると、8 月は▲28.1 と 4 月のボトム(▲33)から改善はしているが、依然として底ばい圏内にある。</p>	<p>国際収支</p> <p>経常収支は第 1 四半期に 2001 年以来初めて黒字に転じた。第 2 四半期も 5.5 億ドルの黒字となった。内訳をみると、財貿易赤字は前年同期の 30 億ドルから 12 億ドルまで減少した。輸出の 2 割を占めるドイツ向けを中心に海外需要が持ち直したことを受けて輸出が前年比+7.2%となったことによる。サービス収支の黒字幅も、前年同期の 0.7 億ドルから 7.4 億ドルに拡大した。</p>  <p>国際収支の動向 (億USドル)</p> <p>(資料)Macrobondより、三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>消費</p> <p>7 月の小売売上は前年比▲0.2%と、前月の同▲2.5%から減小ペースは鈍化したものの、3 カ月連続で前年水準を下回った。インフレ率の低下は好材料だが、家計を巡る環境は依然厳しい。7 月の失業率は前月から横ばいの 7.5%と高止まりしているほか、家計向け銀行貸出は年初以降減少が続いている。また、国内景気の減速や米 FRB による金融緩和規模の縮小観測等を背景としたレイ安で外貨建てローンの返済額が増加し、家計圧迫の一因となっている(家計向け貸出における外貨建の割合は 7 割弱を占める)。財政緊縮継続等の影響も鑑みると、個人消費はしばらくの間、弱含みの展開が予想される。</p>	<p>トピックス：IMF とのスタンバイ融資協定</p> <p>7 月末、IMF はルーマニアと予防的スタンバイ融資協定で合意したと発表した(理事会による正式承認は秋を予定)。期間は 2 年間で、融資規模は約 40 億ユーロ。新規融資の条件には、医療制度改革や交通・エネルギー関連国有企業の民営化推進が含まれており、政府は 9 月 9 日に、国営原子力発電 Nuclearelectrica の新規株式公開を実施している。</p>

ルーマニア経済・金融概況

1. 年、四半期

	2010	2011	2012	12/Q2	12/Q3	12/Q4	13/Q1	13/Q2
名目GDP実額 (10億米ドル)	164.6	182.6	169.3	39.9	45.5	49.3	36.4	43.3
実質GDP成長率*	(y/y, %) ▲ 1.0	2.2	0.5	1.9	▲ 1.1	0.8	2.3	1.4
(民間消費支出)	(y/y, %) ▲ 0.1	1.2	1.0	1.9	0.2	0.4	0.2	▲ 0.1
(総固定資本形成)	(y/y, %) ▲ 4.7	6.9	5.5	6.8	5.6	▲ 0.2	▲ 4.1	▲ 4.1
鉱工業生産 (稼働日、季節調整済)	(y/y, %) 5.1	7.6	2.8	3.2	2.7	3.3	5.5	6.7
小売売上 (営業日調整済)	(y/y, %) ▲ 7.3	▲ 1.2	4.4	5.3	6.2	0.3	0.6	▲ 1.7
消費者物価上昇率	(y/y, %) 6.1	5.8	3.3	1.9	4.1	4.8	5.6	5.3
失業率 (季節調整済)	(%) 7.3	7.4	7.0	7.2	6.9	6.7	7.1	7.4
平均賃金上昇率 (実質)	(y/y, %) 1.8	4.9	4.9	4.7	5.4	6.0	5.3	5.2
銀行貸出伸び率	(y/y, %) 4.7	6.6	1.3	6.3	4.2	1.3	▲ 0.2	▲ 1.3
貿易収支* (百万米ドル)	▲ 12,512	▲ 13,450	▲ 12,358	▲ 3,700	▲ 3,239	▲ 3,146	▲ 1,417	▲ 1,934
輸出額 (百万米ドル)	49,508	62,949	57,819	14,476	13,896	14,969	15,299	15,816
輸出伸び率 (y/y, %)	22.4	27.1	▲ 8.1	▲ 9.1	▲ 14.4	▲ 4.1	5.5	9.3
輸入額 (百万米ドル)	62,019	76,399	70,177	18,176	17,136	18,115	16,716	17,751
輸入伸び率 (y/y, %)	14.5	23.2	▲ 8.1	▲ 10.4	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 0.2	▲ 2.3
経常収支 (百万米ドル)	▲ 7,271	▲ 8,256	▲ 6,617	▲ 2,547	▲ 1,690	▲ 1,321	362	549
資本収支 (百万米ドル)	2,965	6,397	7,244	4,545	1,995	2,124	▲ 1,057	▲ 1,150
対内直接投資 (百万米ドル)	2,939	2,523	2,242	599	814	349	252	620
外貨準備高 (百万米ドル)	43,361	42,939	41,162	41,473	41,964	41,162	41,274	42,180
対外債務残高 (百万米ドル)	124,072	128,162	130,462	126,562	128,491	130,462	129,549	128,491
株価指数	5,232	5,179	4,857	4,881	4,757	4,856	5,586	5,406
政策金利* (期末値)	6.25	6.00	5.25	5.25	5.25	5.25	5.25	5.25
短期金利 (interbank 3m) (平均値)	6.76	5.83	5.35	4.88	5.61	5.88	5.73	4.36
Leu/USD	3.18	3.05	3.47	3.45	3.62	3.49	3.32	3.37
Leu/Euro	4.21	4.24	4.46	4.43	4.53	4.53	4.39	4.40
Leu/GBP	4.91	4.89	5.50	5.46	5.72	5.60	5.16	5.17

2. 月次

	13/01	2	3	4	5	6	7	8
鉱工業生産 (稼働日、季節調整済)	(y/y, %) 3.9	5.1	7.5	11.5	0.5	8.0	6.3	-
小売売上 (営業日調整済)	(y/y, %) 3.1	0.7	▲ 2.0	1.7	▲ 4.2	▲ 2.5	▲ 0.2	-
消費者物価上昇率	(y/y, %) 6.0	5.7	5.3	5.3	5.3	5.4	4.4	-
失業率 (季節調整済)	(%) 7.0	7.1	7.2	7.4	7.3	7.5	7.5	-
平均賃金上昇率 (実質)	(y/y, %) 5.5	5.5	4.8	7.0	5.3	3.5	5.1	-
銀行貸出伸び率	(y/y, %) 0.3	0.1	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 2.4	▲ 1.3	▲ 4.4	-
貿易収支* (百万米ドル)	▲ 394	▲ 279	▲ 736	▲ 797	▲ 646	▲ 491	-	-
輸出額 (百万米ドル)	4,948	5,166	5,182	5,340	5,232	5,250	-	-
輸出伸び率 (y/y, %)	10.3	10.9	▲ 3.4	14.8	2.2	11.6	-	-
輸入額 (百万米ドル)	5,342	5,445	5,918	6,137	5,878	5,741	-	-
輸入伸び率 (y/y, %)	5.2	2.1	▲ 6.8	4.6	▲ 8.6	▲ 2.4	-	-
株価指数	5,523	5,554	5,685	5,458	5,399	5,359	5,365	5,796
政策金利* (期末値)	5.25	5.25	5.25	5.25	5.25	5.25	5.00	4.50
短期金利 (interbank 3m) (平均値)	5.97	5.85	5.35	4.57	4.09	4.45	4.52	3.91
Leu/USD	3.29	3.28	3.39	3.36	3.34	3.40	3.38	3.33
Leu/Euro	4.39	4.38	4.39	4.38	4.34	4.48	4.42	4.44
Leu/GBP	5.26	5.08	5.11	5.15	5.11	5.26	5.13	5.16

(注) 実質GDPは季節調整済、貿易の値は通関ベース、政策金利は2週間物中銀預かり金利

(資料) ルーマニア中央銀行、ルーマニア統計局、Eurostat、IMF

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。